

市議会12月定例会を開催

いわき市議会十二月定例会が、十二月二日から十六日までの十五日間の会期で開催されました。議会では「いわき市体育施設条例及びいわき市コミュニティセンター条例」の改正などのほか、一般会計の補正予算などが審議され、二十二議案が可決・同意されました。

市長からの行政報告

○新型コロナウイルスワクチン接種について

三回目接種の実施に当たり、予約時の混乱を避けるため、コールセンターの人



行政報告をする内田市長

員体制の強化をすることなどに、高齢者予約サポートセンターを開設することなど、予約や接種が円滑に進められるよう、市医師会と協議しながら体制を構築したことを報告しました。

ワクチン接種については、今後、方針や取り扱いの変更が見込まれることから、状況に応じて適切に対応し、引き続き各関係者と連携を図りながら対策や備えに努めていくと述べました。

○第十三回いわきサンシャインマラソンについて

二月二十七日(日)に第九回大会以来となる開催を予定している第十三回いわきサンシャインマラソンについて、今大会は、新型コロナウイルス感染症対策として定員を減らし、競技種目をフルマラソンに限定するなど、規模を縮小するとともに、



第9回大会のいわきサンシャインマラソン

に、今大会では、ウェアブスタートを採用し密を避けるなど、安心・安全な大会となるよう対策を講じて行うことを報告しました。一般エントリーが受け付け開始からわずか二日で定員に達したことから、全国のランナーたちの今大会への期待の大きさを感じたと述べました。

主な議案

○いわき市体育施設条例及びいわき市コミュニティセンター条例の改正について

南部アリーナなど十七施設の照明を水銀灯からLED（発光ダイオード）照明に更新することに伴い、電気料金が下がることから、地域体育館電気使用料などの金額を引き下げるため、所要の改正を行いました。

○教育委員会委員任命の同意を求めることについて

・宮澤美智子（再任）

○公平委員会委員選任の同意を求めることについて

・佐久間一枝（再任）

○固定資産評価審査委員会委員選任の同意を求めることについて

・中野由香利（新任）

・河合真智子（新任）

市行政DX戦略を策定

～ウェブでつながるデジタル行政～

○お問い合わせ
情報政策課情報化推進係
☎22-1172



市は、行政におけるDX（＊1）を着実に進め、新たな社会に的確に対応していくための重点戦略として、令和3年度から7年度までの5年を対象期間とする「市行政DX戦略」を策定しました。

同戦略では、昨年3月に策定した「市ICT利活用社会推進計画」を踏まえ、3つの視点から市民サービスや業務の変革を行い、中期的な目標達成に向けた取り組みを進めていきます。

3つの視点 UPDATE!!

視点1

①市民ファーストで利便性を向上

行かなくてもいい市役所、便利な市役所を目指す。

- ▶主な取り組み
- ・行政手続きのオンライン化を推進
- ・キャッシュレス決済を導入

視点2

②便利で効率が良いワークスタイルの実現

より質の高い政策立案を進め、市民目線の新たな価値を創造する。

- ▶主な取り組み
- ・業務のデジタル化、ペーパーレスを推進
- ・住民票などを取り扱う基幹系業務システムを標準・共通化

視点3

③庁内カルチャーの変革

DXの推進により業務プロセスやサービスの変革を加速させ、施策のPDCA（＊2）を高速化させる。

- ▶主な取り組み
- ・職員研修の充実、情報部門の支援機能強化によるDXを推進

第1弾

オンライン申請を拡充

市民の皆さんの利便性向上のため、新たに介護に関する4手続きのオンライン申請を始めました。その他の手続きについても、順次オンライン化を進めていきます。

○オンライン申請を開始する手続き

- ・居宅（介護予防）サービス計画作成（変更）依頼の届け出
- ・介護保険負担割合証の再交付申請
- ・被保険者証の再交付申請
- ・高額介護（予防）サービス費の支給申請

○申請方法

市ホームページの「電子申請」からアクセスしてください。

デジタル技術を活用した持続可能な地域社会の推進に関する連携協定を締結

市は、12月22日に、一般社団法人SDGsデジタル社会推進機構と同協定を締結しました。

同協定に基づき、デジタル技術を活用した地域課題の解決のため、持続可能な地域社会の実現に向けた基盤強化やスマートモビリティ・スマート物流の推進などに、連携・協力しながら取り組んでいきます。



全国に先駆け同機構と連携協定を締結

＊1 DX（デジタル・トランスフォーメーション） デジタル技術などの浸透が、人々の生活をあらゆる面で良い方向に変革していく概念

＊2 PDCA 計画（Plan）、実行（Do）、評価（Check）、対策・改善（Act）の頭文字を取ったもので業務管理の継続的な改善方法

まちづくり活動や 人材育成を支援



○お問い合わせ
地域振興課地域振興係
☎22-7414

まちづくりのための取り組みや地域課題解決のための活動を支援する「まち・未来創造支援事業」と、まちづくりを担う人材育成を支援する「明日をひらく人づくり事業」の対象となる、市民活動団体やまちづくり団体等が行う事業などを募集します。

○まち・未来創造支援事業

事業名	対象	補助額	上限	補助回数
スタートアップ	新たな公益的活動を始めようとする団体の事業	補助対象経費の5分の4以内	20万円	3回まで
ソフト	地域の課題解決のために行う市民活動	補助対象経費の3分の2以内	100万円	3回まで
ソフト【重点テーマ(*)に合致する事業】		補助対象経費の5分の4以内		
ハード	地域資源を活用した整備事業	補助対象経費の4分の3以内	500万円	1回まで
グレードアップ	実績のある事業をさらに拡充・発展させ、各種団体から賛同・協力を得ながら企画・運営する事業	補助対象経費の2分の1以内	150万円	3回まで
NPO法人設立支援事業	NPO法人格の認証手続きに係る活動など	補助対象経費の5分の4以内	20万円	1回まで

*重点テーマ

①地域支えあい×withコロナ社会 ②地域防災力向上×コミュニティ活動促進 ③中山間地域振興×移住促進

○明日をひらく人づくり事業

▶対象 ①将来のまちづくりを担う青少年を育成するための事業 ②まちづくりを担う人材を育成するための事業 ③自治会・町内会などの運営を担う人材を育成するための事業

▶補助額 補助対象経費の2分の1以内

▶上限 50万円

▶補助回数 3回まで

○案内(共通)

▶申し込み方法 同課、各支所、中央台・泉市民サービスセンターに事前相談の上、申請書など(市ホームページからも入手可)を提出

▶申込期限 2月28日(月)



まずは フレイルチェック

- ☐この半年間で2～3kgの体重減少があった
- ☐以前と比べて歩く速度が遅くなったと感じる
- ☐週1回以上何も運動をしていない
- ☐ペットボトルのふたが開けにくくなった
- ☐ここ2週間訳もなく疲れた感じがする

○診断結果

- ・3個以上該当する方はフレイルの可能性あり
- ・1～2個該当する方はフレイル予備軍の可能性あり

新型コロナウイルス感染症の影響で外出する機会が減り、日常的に動かない生活が続くと、フレイルになることが心配されます。フレイルとは、健康な状態と要介護状態の中間の段階で、体力や抵抗力が低下している虚弱状態のことを指します。フレイルが進むと、病気が重症化しやすくなる可能性があります。

フレイルを予防するには、生活習慣を見直すことが大切です。現在の健康状態を確認し、栄養・身体活動・社会参加の三つのポイントに気を付けて、日頃から意識して体を動かし、健康長寿を目指しましょう。



フレイル予防の3つのポイント

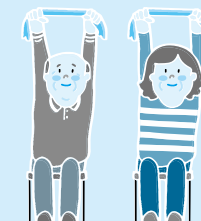
point 1 栄養

1日3食、バランスの良い食事を心掛け、タンパク質が多く含まれる食品をしっかり取りましょう。市と株式会社マルトが共同で、タンパク質を豊富に含んだお弁当を企画しました。今月末まで、勿来駅前店を除く市内各店で販売しています。



point 2 身体活動

自宅でできる簡単な運動を行い、今より10分多く体を動かしましょう。一人でもできる市シルバーリハビリ体操の動画を市公式YouTubeで公開しています。ぜひ、活用してください。



紺綬褒章

▶東洋システム株式会社＝常磐西郷町
同褒章は、公益のために多額の私財を寄附した個人・団体に授与されるものです。令和3年3月に、小型動力ポンプ付積載車2台を本市へ寄附した功績がたたえられました。

point 3 社会参加

趣味やボランティアなどで人と交流しましょう。外出が困難な場合は電話やSNSを活用しましょう。

2月はフレイル予防強化月間、2月1日はフレイルの日
小まめに動いてフレイル予防

○お問い合わせ
地域包括ケア推進課
事業推進係
☎27-8575